

よこはま障害者共同生活総合センター 受注センター わーくる通信



今回は、よこはま障害者共同受注総合センター（受注センター わーくる）の研修・出店の取り組みを紹介する。

○三十年代第一回登録事業所向け研修会

受注センターわーくる連絡会で出された「施設長や職員の意識改革に結びつく研修会を」という意見を受け、十月十日、研修会一受注や工賃アップにつながる意識改革、業務改善」を開催、五十六名の参加者があった。講師は、株式会社恋する豚研究所代表取締役の飯田大輔氏。

「どんな人に売りたいかを設定する」など、商品販売戦略を具体例を交えながら伝えていただいた。

また飯田氏は、「大切なのは、工賃よりも、障害のある方が社会に出ることではないか」という視点。そのためには地域を俯瞰して見て、何が求められているかを知ること」とコミニティとのつながりを強調。高齢化で手つかずとなった栗林を手入れし、収穫した栗で高齢者食事を開催する取組例は、障害者事業所が地域で担える役割や可能性を示唆したものであった。

○企業などの協力で、自主製品販売会を開催

ソニー生命保険(株)横浜ライフプランナーセンター（西区）に勤務する方々の所属するJAIFA（ジェイファ）ソニー神奈川様は、障害者とふれあうことで障害者に対する理解を深めたい、との思いから、総会の際に障害者事業所の販売会を実施している。そこで、「横浜市内の事業所もぜひ」という依頼を受け、ゆめづくり三番館、エヌ・クラップ（共に西区）を紹介し、十月十一日に出店した。

販売会が始まると、売場には多くの人だかり。パン・焼菓子・レトルトカレー等が好評の内に完売した。出店した事業所は、「係員の方が呼び込みを手伝ってくださり、とてもよく売れて感激した」「今回は他にないアイテムを揃え、より多く販売したい」と話していた。

【問合せ先】
よこはま障害者共同受注総合センターわーくる
☎306-9910
ホームページアドレス
<http://www.yokohama-juchuu.jp>



大山ねずの命神示教会様での出店

また、大山ねずの命神示教会様（南区）からは、地域に貢献したいとのことで、全国からの信者参拝時に販売会の機会をいただき、九月二十四日・十月二十日で延べ十事業所が出店した。両日とも盛況で「次年度以降も継続したい」とのお話をいただいた。

清掃の仕事が続けて三十三年 小松智明さん 優秀勤労障害者 厚生労働大臣表彰 を受賞

年九月に「平成三十年年度優秀勤労障害者厚生労働大臣表彰」を受賞した。小松さんは「受賞できて嬉しかった。仕事は大変な時もあるけど、暑い日も雨の日も毎日朝六時に起きて清掃の仕事頑張っています」とにこやかに笑顔で話す。また、知的障害者育成会ワーカー「毎日ご飯をしっかり食

小松智明さん（五十二）は、公益財団法人横浜市の知的障害者育成会ワーカー「毎日ご飯をしっかり食って休みの日はテレビ濱市神奈川区）に雇用さ

れ三十三年にわたり清掃の仕事を続けている。小松さんは、昭和五十九年から約十五年間、横浜あゆみ荘館内及び周辺の清掃業務を行っていた。現在は日産スタジアム周辺での清掃業務が主な仕事だが、横浜あゆみ荘にも月一回清掃業務に入っている。

この度、小松さんは長年にわたる勤労の功績が認められ、今

小松さん（横浜あゆみ荘にて）